

# 福島放技ニュース

清潔で、透明性が高く、親しく話し合える技師会を作ろう！

(社) 福島県放射線技師会会長 片倉俊彦

私は標題に示した技師会を目指すため3Cの会（Clean, Clear, Communication）を立ち上げた。

この会の当面の目標は本年度改選される日放技役員立候補者の応援である。今回の選挙で競争選挙となるのは会長、副会長で、会長候補は現会長と東京都技師会会長である。

現会長の考え方は雑誌やニュースで散見するが対立候補の志向に接する機会は少ない。当技師会のホームページを参照していただきたい。いずれの候補も放射線技師であり、私の理想とする人格的な完全性を要求するのは無いものねだりというものであろう。従って、相対的にどちらかという話であるがその判断の基準は私たち会員の利益である。

この会員の利益という点で私が最も危惧しているのは生涯教育システムである。研修内容については放射線技師業務遂行に際し、技師の思考過程の幅を広げるような良い内容と思われるが現在のようなセミナー&試験形式では会員の所属する施設の規模や開院時間などの事情によって受講機会に恵まれない会員も多い。確かに勉強嫌いな技師も多いがやむを得ざる事情の技師を見捨てるかのような性急な運営は如何なものであろうか。技師間の格差が差別とならないことを祈るのみである。

最近、放射線技師の専門領域を複数の団体で資格として認定する動きが顕著である。これらの制度が患者にとって有益であろう事は否定しないが放射線技師にとって多額の費用と時間の消費を強要されるものであることは間違いのないところであり、これらの費用と時間は確実にそれぞれの学会に収容される。学会参加や論文作成など自分の都合に合わせたポイント積み上げとアドバンスを前提とした複数の試験による認定、どちらが良いかなどと比較しながら資格のためだけに貴重なエネルギーを費やすことを無批判に受け入れる愚は止めよう。

地方技師会やメーカーなどの主催するそれぞれの団体の利益に繋がらない研修会についても内容をチェックしポイントを付与するなど放射線技師の学習機会の増大と技師の努力の評価を公正に行う事の出来る、本当の意味で患者と放射線技師のためになる技師会を作りたいと念じよう。

このためにはどちらの会長がよいのか、おそらくはどちらの候補も完全ではないと思われる。私はコミュニケーションを公約に掲げる候補を応援していきたい。

## 平成 17 年度第 4 回理事会議事録 (抄)

日 時 : 18 年 3 月 30 日 14 : 00 ~ 16 : 15

場 所 県立医大病院放射線部カンファレンス室

出席者 片倉会長、斉藤副会長、鈴木副会長、斉藤、今野、秦、白川、吉田、富塚、飯野、新里、本田、八巻、長川、遊佐、持館理事

欠席者 馬場監事、伊藤事務局長、

議事

- 片倉会長より、北関東地域理事に選出との報告。  
日本放射線技師会の会長、副会長の選挙について、立候補者が、会長 2 名、副会長 4 名のため、選挙が行われるとの報告。
  - 選挙について、会長より一般会員が会長、理事等の選挙に関わっていないので、会員が選挙に関わるような方策を検討してもいいのではないかとの考えを示した。
  - 会津支部の佐藤 幸志会員が叙勲との報告。
  - 会長より、緊急被爆医療対策会議に参加、福島県技師会としては、近隣技師会との動員、訓練を考慮してもいいのではないかとの提言がなされた。
  - 平成 18 年度総会について  
平成 18 年 5 月 20 日 (土)  
14 : 00 ~ 5 月 21 日 (日) 11 : 00  
場所 「東山グランドホテル」  
特別講演 「奥会津に生きる」  
講師 奥会津書房 編集長 遠藤 由美子氏  
担当支部より開催するとの報告。
  - 秦理事より表彰規定の質問がなされ、20 年表彰は、資格取得時を基準し、日本放射線技師会 30 年表彰は、入会時を基準として算定するとの見解が示された。あわせて他に表彰者がいないか、各支部が調査し、本部に連絡することが確認された。
  - 県技師会事業の胃がん検診講習会が、胃がん集検学会よりポイントを認定されたと会長より報告された。
  - 村上事務局長より平成 16 年度会費未納者について、会費未納で、除名、退会、また平成 17 年度会費未納者は規定により退会手続をとるとの報告。
  - 会員名簿作成について、個人情報保護法からみで、会員の同意が必要なのか、作成するか否かは各支部が会員の同意をとり、自宅会員は本部が了承を取り、県の総会で承認を得て名簿を作成する。
  - 持館理事より、平成 18 年度の予算案が示されていないが、予算案の審議が必要なのではとの意見あり、会長より年度末で多忙のため、4 月になり次第各理事にメールで配信し、4 月 12 日までに予算案に対する意見を返信願いたいと回答。
  - 会長より日本放射線技師会の退会希望が少なくない。この状態が続くと、県技師会の組織自体の存続が危ぶまれる。県技師会主催の事業のメリットもあるので、日本放射線技師会会長選ならびに第 1 回の理事会後に、県技師会のみを入会を考慮したいとの考えが示された。
- 以上について、特に異論がなく了承。
- 第 44 回技術学会東北部会学術大会が福島県担当

で平成 18 年 9 日 (土) ~ 10 日に福島テルサを会場にして開催されるので、御協力をお願いしたいと会長要請があった。

以上で議事を終了し閉会とした。

平成 18 年 3 月 30 日

議長 片倉 俊彦

議事録作成人 長川 正良

## アドバンスト認定講習会

### 救急医療学セミナー開催決まる

アドバンスト認定講習会については、昨年度に「医療安全学」「医療学」「看護学」を終了し今年 3 月 5 日に単位認定試験が実施されましたが、残る「救急医療学」について開催が決まり実施要綱が明らかになりました。

講習会は 2 部構成で、1 つは受講者全員が県立医大の講義室に集まり講義を中心としたセミナー、もう 1 つは実習を中心とした上級救命の講習に分かれている。

上級救命の講習は少人数を対象とした訓練が必要なことから、県内各地の消防署に協力を依頼し実施の運びとなった。それぞれの消防署には、期日、受け入れ人数や対象制限などがあり、申し込み時には十分確認する必要があります、また希望日の参加者が多いと調整しますので、別な日に割り振られることもあります。

このような形での開催は県技師会としても初めてのことで、無事終了できますように、役員の方も参加者の方もご協力の程よろしく願います。

詳細は福島県放射線技師会のホームページまたは生涯教育担当委員にお問い合わせください。

## 救急医療学セミナー

平成 18 年 7 月 9 日 (日)

福島県立医大第 2 臨床講義室

9:00 ~ 17:00

### 上級救命講習

平成 18 年 5 月 14 日 (日) 会津若松消防署

平成 18 年 6 月 4 日 (日) 会津若松消防署

平成 18 年 6 月 4 日 (日) 南相馬消防署 5 ~ 10 名

平成 18 年 6 月 4 日 (日) いわき平消防署 5 ~ 15 名

いわき市内勤務または在住の方

平成 18 年 6 月 11 日 (日) 須賀川消防署 10 ~ 15 名

平成 18 年 6 月 11 日 (日) 福島医大病院 ~ 30 名

平成 18 年 6 月 11 日 (日) 白河消防署 10 ~ 15 名

平成 18 年 6 月 18 日 (日) いわき平消防署 5 ~ 15 名

いわき市内勤務または在住の方

平成 18 年 6 月 18 日 (日) 須賀川消防署 10 ~ 15 名

平成 18 年 7 月 2 日 (日) 福島医大病院 ~ 30 名

平成 18 年 7 月 2 日 (日) NOP セトジョン・アンベユス・

ジャパン (須賀川市) 10 ~ 15 名 実習費 8000 円

## 鳥取学術大会旅行計画（案）

### 参加者募集

日本放射線技師会全国総合学術大会に合わせて実施したことがある、観光旅行を今年は米子市での開催時期に下記旅行計画を予定します。参加者 15 名以上で実行可能となりますが、日放技退会の OB を含めますので事務局まで連絡ください。

#### 山陰観光旅行（案）

期 間：18 年 10 月 5 日～8 日

行 程：5 日 9：45 仙台空港発  
11：05 伊丹空港着

伊丹—鳥取砂丘—白兎海岸—米子市

6 日 各自学術大会参加、市内観光

7 日 ホテル—出雲大社参拝—宍道湖—玉造温泉—小泉八雲記念館

8 日 松江城—足立美術館—伊丹空港—仙台空港（18：25 着）

旅費概算：ひとり 10 万円

ツイン使用、朝食つき。夕食は団体で別途負担。

現段階での概要です。参加者が早期に確認できれば、日程の追加、行先内容など相談して決めます。

連絡先：024-557-2924 伊藤

出来るだけファックスで申し込みください。

### <寄稿>

#### 第 62 回日本放射線技術学会に参加して

平成 18 年 4 月 7 日から 3 日間、パシフィコ横浜において第 62 回日本放射線技術学会が開催された。会場には初日から多数の参加者が集い、全国大会ならではの活気に溢れた。展示会場には 130 近くのメーカーによるブースが軒を連ねたが、一日では全てを網羅できないほど見ごたえのある内容であった。また、マンモの機器展示はフラット・パネルが主流となっていました。

また、機器展示と並行して行われた学術発表であるが、若い技師や学生の発表も目立ち、大いに刺激を受けた。いずれの会場も、時間通りの参加をしようと移動すると席を確保できる状態ではないほどの盛況ぶりで、全国レベルの発表に対する期待や関心の高さを思わせた。しかしながら一人当たりの持ち時間が少なくスライドが矢継ぎ早に流れ、内容について理解するのは至難の業であった。

新旧の歴史が混在した横浜は見どころも豊富であり、学会場周辺を抜け出た後は、中華街などの横浜の雰囲気を楽しんで帰って来た。  
(浜通り支部 小澤)

## <会員の移動情報>

春は移動の季節です、入退会、移動の届けがまだの方は早めに事務局へお知らせ下さい。

### 異動

	旧	新
目黒 清	福島県保健衛生協会→	同県南地区センター
石田 篤史	同県南地区センター→	福島県保健衛生協会
熊本 雅章	県北保健福祉事務所→	自宅
西 雄一	高田厚生病院→	鹿島厚生病院
竹村 聖毅	白河厚生総合病院→	高田厚生病院
鈴木 広志	白河厚生総合病院→	農村健診センター
蛭田 (根本) 妃呂美	農村健診センター→	白河厚生総合病院
草野 雅人	渡辺病院→	南相馬市立総合病院
根本 行賢	太田総合病院附属太田西ノ内病院→	太田総合病院附属太田記念病院
佐藤 幸志	会津中央病院→	自宅
馬場 栄二 (財)	竹田総合病院山鹿クリニック→	(医) 福田耳鼻咽喉科医院

### 転出

梅津 修 太田総合病院附属太田熱海病院→  
新潟県立 中央病院

### 退会

渡辺 幸治 (公立藤田病院)、馬場 哲也 (同)  
佐藤 文雄 (自宅)、鎌田 房枝 (自宅)、  
野崎 洋史 (保健衛生協会)、斎藤 瑞男 (医大)、  
小島 正徳 (南東北病院)、備前 辰男 (自宅)  
小林隆雄 (個人)、菊地昌勝 (保健衛生協会県南地区)  
増子悦夫 (桑野協立病院)、白木 弘 (個人)  
本田 勝敏 (竹田総合病院)、吉田賢 (織内医院)  
坂内彰夫 (福島県立大野病院)

### お知らせ！

平成 18 年 2 月 24 日に行われた第 3 回理事会に於いて、総会資料の配布を、今回より CD で送付することが決められました、紙ベースの資料より経費が安くすみ、事務作業の軽減が出来メリットが大きいためです。

PC の持っていない方には紙ベースで送付しますので、事務局または支部にお問い合わせください。また、総会参加者には紙ベースの資料を人数分会場受付に準備いたします。

お手数をおかけしますが、事務作業の効率化と経費節減のため、ご協力をお願いします。

## 支部だより

《浜通支部》

### \*佐藤知好氏の瑞宝双光章受章祝賀会開かれる\*

■平成18年3月12日(日)12:00からいわき市内郷の報徳苑において、いわき市立総合磐城共立病院の前技師長である佐藤知好氏の瑞宝双光章受章祝賀会が開かれました。この日の参加者は124名で技師会・病院関係者・およびご親戚の参加があり共立病院八巻副技師長の総合司会のもと盛大に開かれました。ご夫妻の入場の後、本田浜通り支部長・共立病院技師長の開会の言葉から始まり県技師会片倉会長・伊藤事務局長・(財)福島県労働保健センター佐藤理事・共立病院府川副院長・駒澤大学同窓会浜通り地区草野代表などの祝辞がありました。その後家族ご子息からの花束贈呈があり、佐藤知好氏が謝辞を述べられました。小さな共立病院から今の大病院に至るまでのご苦労や思い出を語られました。激動の世代に生きた先輩技師の姿を感じさせる良きお話となりました。

共立病院元院長である宇留賀先生の乾杯の御発声のあと盛大な祝宴が開かれました。大変な盛り上がりを見せた祝賀会でありました。祝宴の終了時には県技師会馬場監事より正調万歳三唱を行い祝宴を終了しました。共立病院佐藤前技師長の永年のご苦労を想い敬意を表したいと思います。(大森)



《県北支部》

### \*第3回県北理事会の開催\*

■去る平成18年3月8日、第3回県北理事会が保健衛生協会にて行われた。議題として①平成17年度事業報告②支部総会③県総会運営並びに各委員選出について等の話し合いがもたれた。その中で今年度の事業計画案として、「支部で行う講演会や勉強会・研修会等の実施や、かねてからの懸案であった『若人会員の懇談会』を開催していく」等の具体的な討議がなされた。

### \*第4回MDCTカンファレンスの開催される\*

■平成18年3月18日(土)福島テルサにて、第4回MDCTカンファレンスが開催された。教育講演として、福島赤十字病院脳神経外科の及川友好先生より「MDCTの臨床応用」について、また大原総合病院放射線科の佐久間光太郎先生より「放射線科研修で経験した事」についてご講演をいただいた。今回は「頭部領域の病態及び画像診断」をテーマに行われ、県北の7施設より、CT撮影法や条件、症例などについての発表が行われた。今回で第4回目を数えたこのMDCTカンファレンスでは、毎回、放射線科専門医をアドバイザーとしてお迎えし、様々な意見交換や情報交換の有意義な場となっている。発表されました各施設の皆様、大変にご苦労様でした。

(池田)



《会津支部》

### \*会津画像研究会開催される\*

■平成18年2月24日、(財)竹田総合病院山鹿クリニックにおきまして、会津画像研究会が開かれました。

今年最初の画像研究会ではマンモグラフィをテーマにして、基礎的な内容を含む講演や日頃のマンモグラフィ業務における調査・研究の発表などが行われ、各病院の参加者もみな、一つでも多くのことを得ようという意欲で、興味津々と言った様子で聞いていたようでした。画像研究会終了後は、新年会を兼ねた懇親会を行い、今年もまた会津支部をますます発展させていこうと、盛り上がりました。

尚、平成18年5月20日(土)、第59回(社)福島県放射線技師会総会が開催されますのでお知らせ致します。今回は、会津支部が担当となっておりますので、よろしく願いいたします。(森谷)

### 編集後記

花開く4月！ 新たなる出発と出会いの季節。新職員の皆様が大きく飛躍されるよう心よりエールを送ります。今年度も各支部のホットなニュースや話題を載せていけるよう頑張っって参りたいと思っております。(池田)